

# 全国学力・学習状況調査について

## 1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

## 2. 調査実施日

平成31年4月18日（木）

## 3. 調査の対象

泉佐野市立第一小学校 第6学年，全児童

実施児童数（ 66人 ）

## 4. 調査の内容

### (1) 学力に関する調査

ア 教科は、小学校は国語及び算数，中学校は国語，数学及び英語。

イ 出題範囲は，調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし，出題内容は，それぞれの学年・教科に関し，知識・技能に関する内容と，それらを活用する力や構想を立てて実践し評価・改善する力などに関する内容とする。

ウ 出題形式については，国語及び算数・数学においては，選択式及び短答式に加え，記述式の問題とする。英語においては，選択式，短答式及び記述式の問題に加え，「話すこと」に関する問題の解答は，原則として口頭式によるものとする。

### (2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に，学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

### (3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に，学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より，文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は，整数となっております。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて中位層が少なく上位層と下位層が多い

平均正答率（本校 67／泉佐野市 59／大阪府 60／全国 63.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすることに課題がある。</p> <p>3一 畳職人への【インタビューの様子】の <input type="checkbox"/> ア に入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する (77.3/81.3)</p> <p>○目的に応じて、質問を工夫することに課題がある。</p> <p>3二 畳職人への【インタビューの様子】の <input type="checkbox"/> の場面における、質問の工夫として適切なものを選択する (66.7/67.4)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題がある。</p> <p>1三 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の <input type="checkbox"/> に、「2調査の内容と結果」の（1）と（2）で分かったことをまとめて書く (25.8/28.8)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことは概ねできている。</p> <p>2二 梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する (92.4/88.5)</p>	<p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことが概ねできているものもあれば、課題があるものもある。</p> <p>1四（1）ア 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の部アを、漢字を使って書き直す (調査のたいしょう) (75.8/41.9)</p> <p>1四（1）ウ 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の <input type="checkbox"/> 部ウを、漢字を使って書き直す (かんしんをもってもらいたい) (31.8/35.6)</p> <p>○文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことに課題がある。</p> <p>1四（2）公衆電話について調べたことを【報告する文章】の <input type="checkbox"/> の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す (43.9/47.8)</p> <p>○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることにやや課題がある。</p> <p>3四 ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】のウに入る適切なものを選択する (習うより慣れよ) (74.2/73.0)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	53.0	64.2	○	11.2
国語の勉強は大切だと思いますか	86.3	93.0	◇	6.7
国語の授業の内容はよく分かりますか	78.8	84.9	◇	6.1
読書は好きですか	71.2	75.0		3.8
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	87.9	91.2		3.3
国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか	66.6	76.9	○	10.3
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか	62.1	78.1	○	16.0
国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか	60.6	68.5	◇	7.9
国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか	54.5	71.4	○	16.9
解答時間は十分でしたか(国語)	80.3	74.2	◇	6.1

- 「国語の勉強は好きだ」と感じている児童の割合は一昨年度と比べて6ポイント減少し、全国との差が広がったことは課題である。(H29 59.4)
- 「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている」児童の割合が、全国と比べ低いことは課題である。
- 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」児童の割合は、一昨年度と比べて変化せず、依然として全国と比べ低い割合であることは課題である。(H29 62.3)
- 「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいる」児童の割合が、全国と比べ低いことは課題である。
- 全体的に「読むこと」や「読む能力」については高いが、「書くこと」や「書く能力」についてはやや課題がある。また、同音異義の使い分けに課題があり、漢字の意味を理解する必要がある

## 平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

### 1. 全体の傾向

- ・ 平均正答数および平均正答率は全国と比べてほぼ変わらないが、上位層と下位層に分かれている

平均正答率（本校 67／泉佐野市 65／大阪府 66／全国 66.6）

### 2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数	特徴がみられた設問
<p><b>【数と計算】</b></p> <p>○示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述することに課題がある。</p> <p>3（2）減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのかを書く (24.3/31.1)</p> <p>○示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することは概ねできている。</p> <p>3（1）350－97について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く (82.4/81.8)</p> <p><b>【量と測定】</b></p> <p>○場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断することに課題がある。</p> <p>4（3）残り7ポール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを判断する (57.4/62.6)</p>	<p><b>【図形】</b></p> <p>○台形について理解することは概ねできている。</p> <p>1（1）長方形を直線で切った図形の中から、台形を選ぶ (94.1/93.1)</p> <p><b>【数量関係】</b></p> <p>○棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることが概ねできている。</p> <p>2（1）1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ (94.9/95.2)</p> <p>○目的に適した、伴って変わる二つの数量を見いだすことは概ねできている。</p> <p>4（1）だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ (82.2/82.7)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	72.7	68.6		4.1
算数の勉強は大切だと思いますか	93.9	93.7		0.2
算数の授業の内容はよく分かりますか	81.9	83.5		1.6
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	86.4	92.5	◇	6.1
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	68.1	76.5	◇	8.4
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	72.7	79.1	◇	6.4
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	81.8	82.0		0.2
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	75.7	82.1	◇	6.4
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	75.8	84.0	◇	8.2
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	83.3	87.0		3.7
解答時間は十分でしたか(算数)	90.9	84.0	◇	6.9

- 「算数の勉強は好き」と感じている児童の割合が昨年度と比べて増加し、高い割合であることは評価できる。(H30 66.0)
- 「算数の授業内容はよくわかる」と感じている児童の割合が昨年度と比べて少し減少していることが課題である。(H30 86.0)
- 「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」児童の割合が昨年度と比べて減少していることが課題である。(H30 78.0)
- 問題形式では選択式や短答式では全国と比べて少し上回っているが、記述式では平均正答率は全国と比べて1.9ポイント程度下回っており、全国や府とおなじように苦手な傾向にある。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【自分自身について】	○自分には、よいところがあると思う割合は、全国を下回っている。	○自分には、よいところがあると思いますか <75.7/81.2>
【家庭生活の様子】	○毎日、同じくらいの時刻に起きている割合は、全国を上回っている。 ○家の人と学校での出来事について話をする割合は、全国を上回っている。 ○地域の行事に参加している割合は、全国を下回っている。 ○地域や社会をよくするために考えることがある割合は、全国を下回っている。	○毎日、同じくらいの時刻に起きていますか <97.0/91.6>  ○家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか <80.3/77.4>  ○今住んでいる地域の行事に参加していますか <34.9/68.0>  ○地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがありますか <28.8/54.5>
【家庭学習の様子】	○家で自分で計画を立てて勉強をしている割合は、全国を下回っている。 ○読書が好きだと感じている割合は、全国を下回っている。	○家で自分で計画を立てて勉強をしている割合は、全国を下回っている。 <66.7/71.5>  ○読書は好きですか <71.2/75.0>

## 本校の取組み

### ◎これまでの取組み

これまでの全国学力・学習状況調査の結果から見えてきた本校児童の学力実態を踏まえ、「心豊かな子どもの育成をはかり、確かな学力向上に努める」を教育目標として、研究授業の実施を含めた校内研修会を計画的に行い、授業改善を図っている。

授業改善の取組みについては、校内研究委員会において協議し、以下の取組みをすすめている。

- ①「泉佐野スタンダード～泉佐野市の学力向上に向けて～」を参考にして、学習の準備や学習規律を統一して指導するため、「一小スタンダード」を決め、安心して学べる環境づくりに努めてきた。
- ②メロディーチャイム（チャイムが鳴るまでの校歌のメロディーを流すこと）、その後のチャイム着席が定着してきたことにより、学習に取り組む姿勢が確立されてきた。
- ③3～6年生の算数科において、少人数習熟度別指導を行い、一人ひとりの習熟度に応じたきめ細かな指導で、基礎・基本の定着を図るとともに、活用力を高める取組みをすすめている。
- ④ノート指導においては、図や式を用いた説明、自分の言葉で考え方を書き、振り返りができるノートづくりをすすめ、工夫しているノートを全体にも紹介している。
- ⑤スキルアッププリントでの繰り返し学習や計算大会を行う中で、基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、達成感が持てるよう努めている。
- ⑥「話し方、聞き方」や「発表の仕方」について教室掲示し、話すこと、聞くことについて統一した指導を行い、共感的に受けとめることを大切にしている。
- ⑦相互参観や公開授業参観を積極的に行い、指導力向上に努めている。

また、一小校区福祉委員会や地域の方のご協力をいただき、田植え・稲刈り体験、芋苗植え・芋掘り体験や昔遊び体験等のさまざまな体験活動に取り組む中で、「自分にはよいところがある。」と回答した児童が75.7%（全国81.2%）で、全国の平均より6ポイント下回っており、自尊感情を育てる取組みが今以上に必要である。また、「人の役に立つ人間になりたいと思う。」と回答した児童が95.4%（全国95.2%）で、取組みの一定の成果が表れている。

### ◎これからの取組み

○基礎的・基本的な知識、技能を身につける。

○ノート指導を通して授業づくりを行い、共感的に受け止めようとするを大切にした学級づくりをめざす。

・具体的な取組みとして

（ア）さらに基礎的・基本的な知識や技能を身につけさせる。

#### ①復習プリントの活用

・算数において、4月、7月、2月に前年度の学年の算数学力調査を実施する。その結果を踏まえ、前学年に学習した内容を宿題や日々の課題として継続的に取り組ませることで、基礎基本の定着を図る。

#### ②毎週金曜日の宿題に「ことばの力」プリントを出し、書く力や語彙力の向上に努める。

また、50字、100字程度でまとめる力をつける練習をする。

#### ③自学プリントの活用

・自分の学習の実態に応じたプリントを選択し、土曜授業や授業の合間、休み時間などに取り組む。

#### ④100マス計算の取組み

・これまでどおり木曜日を100マスの日として、全学年100マス計算に取り組むことを続ける。

#### ⑤算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するために授業のまとめを自分たちで書いてみる。

（イ）ノート指導を通じた授業づくり、共感的に受け止めようとするを大切にした学級づくりをめざす。

- ・「めあて」「問題」「自分の考え」「友達の考え」「まとめ」「練習」「ふりかえり」の流れに沿った授業に取り組むことで、授業の効率化を図り、思考力を育てる。
- ・共感的に受け止めようとするを大切にした学級づくり。
- ・「話し方」「聞き方」「発表の仕方」の教室掲示。
- ・ソーシャルスキルワーク授業の実践。

(ウ) その他

- ①相互参観週間を設け、互いの授業を参観することで教師の授業力向上に努める。
  - ・他校の公開授業を積極的に参観し、他校の実践に学ぶ。
  - ・学級経営や実技の研修会（ミニ研修会）を開き、教職員の実践力を高める。

①朝の学習

- ・月曜日：読書タイム（学級文庫の活用時間を増やす）
- ・火・水・金曜日：英語活動
- ・木曜日：100マス計算